

あつぎこどもの森クラブ



くぬぎ便利

第8号



あつぎこどもの森公園は只今春の真っ盛り、桜が咲き終え、草木が競い合うように若芽を芽吹かせ、クヌギもコナラもこれから新緑に向かって身支度を整えています。動物や昆虫たちも冬ごもりから抜け出し活動をはじめています。今号ではこの豊かな自然の中で学生さんが、アカデミックに研究している内容の一端を紹介します。

あつぎこどもの森公園をフィールドにした大学生の研究

～豊かな自然があるからできる調査・研究活動～

あつぎこどもの森公園では開園後すぐに大学生の卒業研究・修士課程研究などのフィールドとして多くの学生を受け入れ、研究成果を共有することにより公園の生物相の実態を明らかにするためのデータを蓄積しています。このことにより公園の生き物の豊かさを確認するとともに、豊かさを保ち続けるための保全活動につなげていきたいと考えています。

大学生が研究発表に使用したポスターを管理棟に掲示する予定です。

公園にお越しの際はぜひ管理棟に立ち寄りご覧ください。

あつぎこどもの森における大学生の調査研究概要 |

- ・ あつぎこどもの森公園およびその周辺におけるミズニラ生育地の特徴 (2016 年度)
- ・ 水生シダ植物ミズニラ *Isoetes japonica* の生育地の特徴と、生育地維持に向けた管理方法について (2017 年度)

明治大学大学院 応用植物生態学研究室 相澤 直さん



ミズニラは本州・四国の低地に分布し、湿地、池沼周辺、水田などに生育する沈水または注水性に水生シダ植物です。生育地の環境的特徴の解明とその維持に向け調査を行い、ミズニラの好む生育場所を推測し、その環境をどのような方法で維持可能かを提案。

- ・ 厚木市こどもの森公園周辺に生息する外来ガエルの食性について
東京農業大学 野生動物学研究室 菱沼彩佳さん (2016 年度)
- ・ 外来ガエルの食性および誘因餌の検討
東京農業大学 野生動物学研究室 佐藤孝河さん (2017 年度)

公園周辺に生息する外来のウシガエル・アフリカツメガエルの胃の内容物を分析し、食性を調べた。成体と幼体の食性の違いや季節による捕獲餌の変化及び数種のえさの誘因効果を確かめた。



ウシガエルの誘因えさへの効果は非常に低かった。
希少種をはじめ在来種を幅広く摂食していることを明らかにでき、生態系へ大きな影響を与えていることがわかった。

お願い

- ・調査の際は腕章をつけて活動しますので、温かく見守ってください。
- ・調査、研究に使用する道具(生き物をとらえる各種のトラップやセンサーカメラなど)を触ったり壊したり持ち去ったりしないでください。(昨年来外ガエルをとらえるために溜池にかけておいた罟がすべてなくなり、調査に支障をきたしました。)ご協力お願いいたします。

こどもの森クラブでも学生に負けずに調査活動を行っています。

- ・毎月の植物相調査
- ・4月～11月の月2～3回のトンボ調査
- ・年4回の水生生物調査

一緒に調査する仲間を探しています。ご興味のある方はご連絡ください。一緒にやりましょう。連絡待ってます。メール: atugikodomonomorikurabu@gmail.com ☎ 046-210-3433

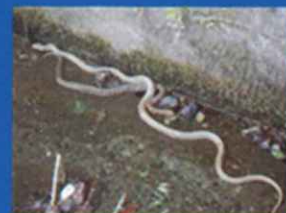
あつぎこどもの森公園における大学生の調査研究概要 II

・あつぎこどもの森公園内における両性、爬虫類相の把握

東京農業大学 野生動物学研究室 柴崎貴成さん

人出の少ない平日にこどもの森公園と隣の市谷戸の両生類・爬虫類の調査を行い、両性・爬虫類相の把握を行った。

公園内で両生類は8種、爬虫類は6種の生息を確認した。季節変化や環境や日当たりなどによる出現率を、比較した。両生類は日陰、爬虫類は日向に多かった。特に溜池は多様性に貢献しており人工物とはいえ生物の生息地として重要であることがわかった。



・あつぎこどもの森公園とその周辺における水生昆虫相に関する研究

東京農業大学 野生動物学研究室 長田和磨さん

水生昆虫保全の資料の蓄積に貢献するため、水生昆虫相およびその季節変動態を調査し考察した。常時水深のある水を、たたえる溜池は多様性が高く、カメムシ目4種・コウチュウ目3種・トンボ目16種の合計23種を確認した。



水田は水深が変動するためか17種であった。馬込池は樹林に囲まれ日陰になるため、そのような環境を好む種が多く13種であった。多様な環境が生物の多様性を支えている。



今年は7人の学生さんが卒業研究のために調査に入ります。

【2018年度の調査・研究のテーマ】

- | | | | |
|-------------------------|--------|----------|---------|
| ・「腐肉食性の甲虫群集に関する研究」 | 東京農業大学 | 野生動物学研究室 | 荒山悠さん |
| ・「ヘビ類の生息環境利用に関する研究」 | 東京農業大学 | 野生動物学研究室 | 桑田佳歩さん |
| ・「ネズミ類の生息環境利用に関する研究」 | 東京農業大学 | 野生動物学研究室 | 江原雄輝さん |
| ・「ニホンザルの採食行動に関する研究」 | 東京農業大学 | 野生動物学研究室 | 山田恵佑さん |
| ・「衝突板トラップを用いた地表性甲虫相の解明」 | 東京農業大学 | 昆虫学研究室 | 牛木洋介さん |
| ・「衝突板ライトトラップを用いた甲虫相の解明」 | 東京農業大学 | 昆虫学研究室 | 樽 宗一郎さん |
| ・「果実トラップを用いたケシキスイ相の解明」 | 東京農業大学 | 昆虫学研究室 | 今福悠人さん |

体験イベント日程表

5月



- 13日(日)親子で作る Bamboo Jangle で遊ぼう
ターザン遊び 里山遊び
- 19日(土)午前:自然ガイドツアー 夏鳥の声を聞こう
- 20日(土)第2回水辺の生き物調査隊(若干名)※
両生類~カエル・イモリについて 予備日 26日(土)
- 20日(日)落花生の種まき
- 26日(土)サツマイモ植え付け

6月



- 10日(日) 冒険 スラックライン競技会
- 17日(日)第3回水辺の生き物調査隊(若干名)※
トンボについて 予備 23日(土)
- 23日(土)午前:自然ガイドツアー 谷戸の野鳥を知ろう
- 17(日)または24日 ジャガイモ収穫

7月

- 8日(日) 冒険 ターザン遊び、流しそうめん体験
- 21日(土)午前 自然ガイドツアー
谷戸の成り立ち 地層 地形を知ろう
- 22日(日) 第4回水辺の生き物調査隊(若干名)※
ホタルについて 予備日 28日(土)
※隊員の参加が10組に満たなかった場合

イベントの日程・内容は天候などの影響で、
直前に変更になる場合があります。
参加前に必ずホームページなどで確認してください。

電話：046-210-3433

受付時間：4月~9月 9:00~17:00

メール：atugikodomonomori kurabu@gmail.com

HP：<https://atsugikodomonomori.com/>

くめぎ便り

発行：2018年4月22日 第8号
編集 制作 あつぎこどもの森クラブ 広報
発行責任者 長岡 恂
事務局

神奈川県厚木市中荻野 916-2 (管理棟)
Tel.046-210-3433

